

令和 8 年度学校経営計画表

1 学校の現況

学校番号	特 23		学校名	県立境特別支援学校								学校長名	林 孝一				
教頭名	野口 久人			吉澤 真純			茅根 美香			事務（室）長名	大藏 夏志						
教職員数	教 諭	109	養 護 教 諭	2	常 勤 講 師	39	非常勤 講 師	4	実 習 助 手	2	事 務 職 員	3	技 術 職 員等	13	計	178	
幼児・ 児童・ 生徒数	部	1 年		2 年		3 年		4 年		5 年		6 年		小計		合計	合計 学級数
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		
	小学部	16	12	15	9	25	8	21	11	13	12	19	8	109	60	169	39
	中学部	19	12	22	8	19	8	—	—	—	—	—	—	60	28	88	19
	高等部	23	12	17	12	24	14	—	—	—	—	—	—	64	38	102	18
														233	126	359	76

2 目指す学校像

- ◆安全安心な環境のもと、子どもを主語にして学びあえる学校
- ◆みんなが子どもの可能性を信じ、学び続ける学校
- ◆保護者・地域の人に開かれ、みんなでつくる学校
- ◆子ども・保護者・地域の人・教職員みんなが Well-Being になる学校

3 現状分析と課題（数量的な分析を含む）

項 目	現 状 分 析	課 題
学校経営	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の増加、教職員不足の中、工夫しながら業務に取り組んでいる。 ・計画的な環境整備及び防災学習、訓練を実施している。 ・児童生徒の食の安全や職員の健康に関する研修を実施し、安全に日々の指導を行っている。 ・定期的に研修を実施するなど、教職員全体のコンプライアンス意識の向上に努めている。 ・特別支援教育体制の充実にむけて、特別支援教育地域連携体制構築事業や学校公開等を通して地域の学校等と連携を続けている。 ・Google Workspace を活用し、効果的な情報伝達や研修、会議を実施している ・学校運営協議会にて熟議を重ね、大切なことを確認しあっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的な学びや当事者意識の育成 ・時代や実態に応じた学校のアップデート ・「対話」に重点を置いた授業・業務遂行 ・学校運営協議会を活用した学校づくり ・取り組みの効果的な情報発信 ・校内支援での外部専門家の効果的な活用 ・みんなで考える働き方改革 ・危機管理やゆとりを重視した校務での効果的な ICT 活用
学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ・育成を目指す資質能力の般化にむけ、学校全体で計画的に授業改善を実施している。 ・ICT の効果的な活用を推進し、授業改善研修等での好事例の収集と職員間の共有を実施している ・個別面談や授業参観、個別の指導計画の評価等、信頼関係構築のための工夫をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・単元で取り組む主体性を引き出すゆとりある学びの工夫 ・子どもの「やりたい」から始まる自立活動を重視した学習環境整備 ・信頼を重視した子どもも大人もゆとりのある学習サイクルの工夫 ・授業や日常での効果的な ICT の活用

4 中期的目標

<ol style="list-style-type: none"> 1 安全安心な教育環境のもと、大人も子どもも対話をもとに主体的な学びの充実。 2 子どもの可能性を信じ、ICT を効果的に活用し、選択肢を増やすことにチャレンジする。 3 学校運営協議会を中心に校内での学びあい、地域での学びあいの充実。 4 最上位の目的・目標を合意した上でみんなが学校をつくるという当事者意識をもち学びを楽しむ。
--

5 本年度の重点目標

重点項目	重点目標
0 Well-Being をめざして	<ul style="list-style-type: none"> ① 「ありがとう」「やってみよう」「なんとかなる」「ありのままに」の実践から Well-Being を探究 ② 幸せに働ける心理的安全性のある風通しのよい職場の醸成と、適切なワークライフバランスに向けた働き方改革を推進する。 ③ 大人も子どもも「対話」「主体的な行動」を意識し、認め、挑戦する人を応援する支援。失敗したら「やり直し」ができる環境づくり
1 安全安心な学校作りの推進	<ul style="list-style-type: none"> ① 施設・設備の点検改修による安全安心な環境作り ② 児童生徒の心身の成長に伴う健康管理や保健教育、食育指導の実践 ③ 感染症対策等による持続可能な安全安心な学習環境作り ④ P T A や地域と連携した大災害時の防災体制の確立
2 ニーズに応じた学びの充実	<ul style="list-style-type: none"> ① 様々な ICT 機器を活用とした アクティブラーニングの実践 ② 自立と社会参加に向けた児童生徒の個別に応じた指導実践（「やりたい」から始まる自立活動） ③ 発達段階に応じた教育課程による小中高一貫性のある実践 ④ 体験型学習やデュアルシステム型実習の積極的活用
3 教員の意識向上のための研修の充実	<ul style="list-style-type: none"> ① 職員全体や個人研修の充実を図り、特別支援教育の専門性を高める ② I C T 環境の充実、教材データ化による働き方改革の推進と学習の充実 ③ 魅力ある学校づくりのための教育環境の充実 ④ 教員のコンプライアンス意識を高め、教育公務員としての人間性の充実
4 地域の連携とセンター的機能の推進	<ul style="list-style-type: none"> ① 地域・小中高との交流及び共同学習の推進を深め、コミュニティスクールの充実 ② 地域のセンター的機能としての支援の充実 ③ 外部団体や地域資源を活かした P T A 活動の充実 ④ 学校教育活動の公開や HP を利用した情報発信